

2 グローバル教育センター

グローバル教育センターについて

インターンシップ科目

グローバル・コンピテンシー・プログラム

海外短期研修

実践型プログラム

SUMMER SESSION IN EAST ASIAN STUDIES AND JAPANESE LANGUAGE

グローバル教育センターについて

インターンシップ科目

グローバル・コンピテンシー・プログラム

海外短期研修

実践型プログラム

SUMMER SESSION IN EAST ASIAN STUDIES AND JAPANESE LANGUAGE

グローバル教育センターについて

グローバル教育センターは、全学生を対象に、グローバル社会に対応する多様な科目や海外勉学の機会を提供しています。グローバル社会で活躍するためには、高度な専門性、外国語運用能力だけでなく、幅広く高度な教養の修得が欠かせません。

グローバル教育センターが実施する科目やプログラムは、主に以下のように分類されます。これからグローバル化が加速する社会に生きていく皆さんには、これらの機会を大いに活用してほしいと願っています。

① 講義科目（全学共通科目）

国際関係、国際協力、教育、ビジネス、メディア、環境など、幅広い分野で講義科目を開講しています。高度な教養を身に付けるだけでなく、自分の専門分野の学習をさらに深めるため、あるいは学際的な学びへと発展させるために、積極的な履修を期待しています。2022年度、当センターは約100科目の全学共通科目を開講しますが、そのうち約20科目以上が英語による科目です。履修に際し必要となる英語力のレベルは、科目によって異なりますが、英語力向上や留学準備、留学後や卒業後のキャリア検討のため、英語科目にもチャレンジしてみてください。

② インターンシップ科目（全学共通科目）

本学と協定を結んだ企業、国際機関、団体などでインターンシップ（就業体験）をすることで全学共通科目の単位が付与されます。インターンシップは、夏期・春期休業中に2～6週間実施する短期型と、学期中に2～5ヵ月間で実施をする中期型・長期型があります。【p.64～を参照】

③ グローバル・コンピテンシー・プログラム（13年次生以降対象・学部横断型プログラム）

「国際協力」、「グローバル・ビジネス」、「グローバル・メディア」、「コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング」の4コースがあり、グローバル化対応能力を養うための実践的で高度な教養教育プログラムです。【p.66～を参照】

※2021年度以降は新規履修者の募集は行いません。

④ 海外短期語学講座

夏期・春期休業中の3～5週間、本学の交換留学協定校等が主催する語学プログラムに参加します。所定の成果を修めた者には、当該言語科目の単位が付与されます。言語教育研究センター開講科目ですが、グローバル教育センターがプログラムを運営しています。【p.150～を参照】※

⑤ 海外短期研修

夏期・春期休業中の2～6週間、本学の交換留学協定校等で実施される短期プログラムに参加し、外国語で専門科目を学びます。認定・単位数はプログラムにより異なります。本研修参加のためには一定の語学能力が求められており、語学能力を活用しながら集中的に専門科目を学びたい学生に向いています。【p.89を参照】※

⑥ 実践型プログラム

主に夏期・春期休業中に、海外においてフィールドワーク等を通じて実践的に学ぶプログラムです。各プログラムは、本学の開講科目として取り扱われ、事前指導に全て参加し、単位を取得するプログラムです。【p.90～を参照】※

⑦ 交換留学

本学の交換留学協定校へ、協定に基づき大学の代表として派遣される留学プログラムです。留学期間は1学期～1年で、留学開始約1年前に学内選考があります。

⑧ Sophia AIMS (SAIMS) プログラム

本学の提携大学であるASEAN諸国4カ国の7大学との交換留学プログラムで、各大学が提供する様々な分野を1学期間、英語で学ぶことができます。また、ASEANからの留学生と共に、SAIMSプログラム科目の履修が可能です。【p.92を参照】※

⑨ Latin America Program (LAP)

本学の提携大学である中南米6カ国13大学への交換留学プログラムです。留学による相手国の言語や文化の修得のみならず、本学での中南米からの留学生とスペイン語・ポルトガル語で開講される授業や課外の交流を通して、様々な角度から理解を深める多層的な学生交流プログラムです。【p.92を参照】※

⑩ Summer Session in East Asian Studies and Japanese Language

7月に海外の大学生等を対象に日本およびアジアの社会、政治、経済、芸術、言語に関わる講義を英語で提供するサマーセッションを開講しています。留学生向けのプログラムですが、本学の学生も履修可能です。【p.93を参照】

※④～⑨のプログラム詳細については、グローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」も参照してください。

グローバル教育センターについて
科目目
グローバル・インシニアシッププログラム
海外短期研修
実践プログラム型
2023年度～2024年度

インターンシップ科目

本学と協定を結んだ実習先（グローバル企業、国際機関等の日本代表部、国際協力団体、報道機関など）でインターンシップ（就業体験）をし、事前・事後の講義受講や課題提出を行うことで全学共通科目（選択科目）の単位が付与されます。就業・実務経験を通じて、大学で学んだ専門知識や技能をグローバル社会の中でどのように活かすのか、あるいは自分が残りの大学生活で何を学ぶべきか、といった気づきを得るため、主体的に学ぶ姿勢が求められる科目です。

インターンシップ科目の履修にあたっては、別途説明会・選抜を行います。説明会・募集情報は、Loyolaの大学掲示板（留学関係＞インターンシップ科目）で発表します。最新の情報はグローバル教育センター窓口（2号館1階）で確認してください。下記の実習先例は過去の募集実績です。各学期の募集実習先はLoyolaの「大学掲示板」で発表します。

1. 科目の種類と実習先例

科目名（単位数）	学期（実習期間）	過去の募集実習先（年度により募集実習先は異なる）※は海外での実習	
経済同友会連携 インターンシップ (2単位)	春学期 (夏期休業中、2～4週間) 秋学期 (春期休業中、2～4週間) 【対象学年：2年生】	【2021年度】 ケマーズ㈱ / ㈱キッツ / 住友林業㈱ / ㈱小松製作所 / コニカミノルタ㈱ / 野村證券	
グローバル インターンシップ(短期) (2単位)	春学期 (夏期休業中、2～6週間) 秋学期 (春期休業中、2～6週間) 【対象学年：2年生以上】	グローバル・ビジネス 分野	【2021年度】※は海外オンライン実習 ボッシュ㈱ / ㈱フジタ / ㈱パソナグループ / ※イオン ㈱ / ※イオンフィナンシャルサービス㈱ / (公財)国際 通貨研究所 / ジオメトリー・オグルヴィ・ジャパン(同) / エーオンホールディングズジャパン㈱ / ※Sophia Global Education and Discovery Co., Ltd.
		国際協力分野	【2021年度】 アフリカ開発銀行 (AfDB) / (独) 国際協力機構 (JICA)
		グローバル・メディア 分野	【2021年度】※は海外オンライン実習 ㈱日本経済新聞社 / ※トムソン・ロイター / (公財) フォーリン・プレスセンター
		グローバル・ポリティクス分野	【2021年度】 駐日ブルキナファソ大使館 / 駐日メキシコ大使館
UDトラックス インターンシップ -A Door to a World Leader in Sustainable Transport Solutions- (2単位)	春学期 (夏期休業中、3～4週間) 【対象学年：2年生以上】	UDトラックス㈱	
グローバル インターンシップ(長期) (6単位)	春学期・秋学期 (3～5ヶ月) 【対象学年：3年生以上】	【2021年度】 (独) 日本貿易振興機構 (JETRO) / (公社) 日本ユネスコ協会連盟 / (特非) ACE (エース)	
グローバル インターンシップ(中期) (6単位)	2Q (6～9月 2～4ヶ月) 【対象学年：3年生以上】	【2021年度】 なし	

2. 履修にあたっての注意事項

- ・実習先により、実施時期、対象学年、申込要件が異なります。詳細は、Loyolaの大学掲示板（留学関係＞インターンシップ科目）に掲載される「履修申込要項」を十分に確認してください。
- ・インターンシップ科目は選抜によって履修者を決定し、通常の履修登録期間とは異なる時期に履修登録を行います。派遣が決定した時点で、該当学期及びその後の履修について、必ず学事センターに相談してください。
- ・実習先によっては、前年度、もしくは前の学期に募集・選抜を実施します。募集情報は、Loyolaの「大学掲示板」に掲載しますので、早めに確認するようにしてください。
- ・成績評価は、“P”（合格）もしくは“X”（不合格）のいずれかとなります。“P”，“X”で表記される成績については、GPAの計算に含まれません。
- ・「インターンシップ科目」は、履修登録の際の各学期および年間の「最高履修限度」の単位数には含まれません。
- ・「インターンシップ科目」履修学期をもって卒業見込の学生は、参加は可能ですが単位は付与されません。
- ・2019年度以前に入学した国際教養学部 of 学生は参加するインターンシップ科目の単位数分の学費がかかります。学費の請求は履修登録の処理が終わってからになります。

グローバル教育センターについて
インターンシップ科目
グローバルコンピテンシープログラム
海外短期研修
実践プログラム型
INTERNATIONAL STUDY CENTER

グローバル・コンピテンシー・プログラム

1. グローバル・コンピテンシー・プログラムとは

本プログラムは、自身の利益のためではなく、地球的な視野に立ち、世界の平和、人権擁護など、弱者への想いを常に心がける「他者のために、他者とともに」という本学の教育理念を体現する社会のリーダーを数多く輩出することを目的としている。高度な外国語能力とコミュニケーション能力を備え、幅広い人間性と高い倫理感に裏打ちされたグローバル・コンピテンシー＝グローバル化対応能力を発揮するための実践的、実務的な教養教育プログラムである。学科科目で専門性を身につけながら、さらに高度な教養教育プログラムを求める者を対象とする。

2. 4つの開設コース

「国際協力」、「グローバル・ビジネス」、「グローバル・メディア」、「コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング」の4コース。

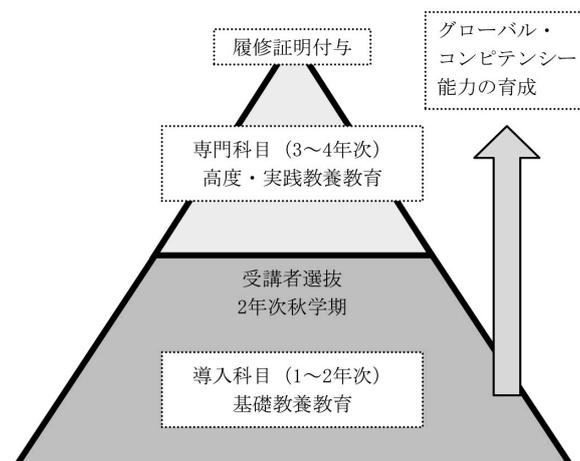
全学共通科目、学科科目から各プログラムで指定された科目を履修し、所定の単位を修得することで、そのコースの履修証明書が付与される。

3. 受講対象者

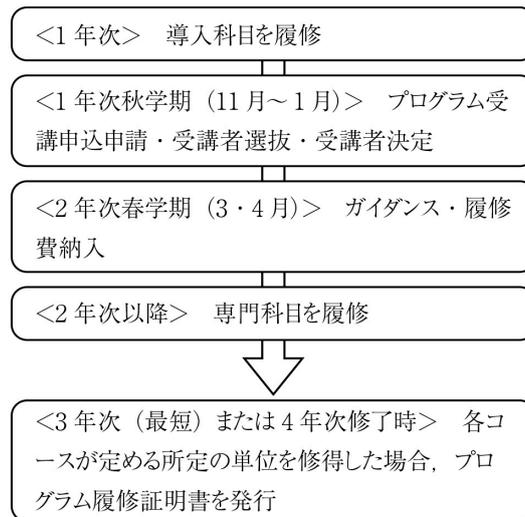
2013年度以降2020年度の間に入学者で、当該プログラムの受講を許可された学生を対象とする。

※当プログラムの新規履修者の募集については2020年度の実施を以って終了し、以後は行わない。

4. プログラム履修イメージ



5. プログラム履修の流れ



6. プログラム受講・履修上の注意

- ・専門科目のうち、オリジナル科目（GCP生のみが履修可能な科目）については卒業に必要な単位とはならないので注意すること。各コースのオリジナル科目については各コース概要参照。
- ・専門科目のうちオリジナル科目については、プログラム受講者全員の学科必修科目等との時間割重複を避けるため、6限や土曜日、休業中の集中講義などの時間帯で実施する場合があるので注意すること。
- ・導入科目の中には抽選科目も含まれるが、プログラム受講希望者が優先的に当選するわけではないので、この点も注意して履修計画を立てること。
- ・国際教養学部開講科目を履修するためには、別途語学要件が定められている。詳細は履修要覧〔ガイド・資料編〕p.33を参照のこと。
- ・1人で複数のコースの受講はできない。
- ・各コースの実践活動（インターンシップ、ボランティア等）に伴う各種経費（交通費、遠方・国外の場合に発生する期間中滞り費など）については、すべて自己負担となる。
- ・プログラムの履修中に所属学科の卒業要件を満たした場合は、卒業となる。プログラム履修のために在学継続をすることはできないので、特に途中で留学を検討している場合は履修計画を綿密にたてること。
- ・いったん納入したプログラム履修費は、いかなる理由があっても返金しないので注意すること。
- ・2019年度以前に入学した国際教養学部生については、オリジナル科目を除く履修科目の付与単位分の授業料がかかる。

7. プログラム最新情報

プログラムの最新情報などについては、Loyola掲示板で通知するので、受講生はこまめに確認すること。

グローバル教育センターについて
 インターンシップ
 グローバルコンピテンシー・プログラム
 海外短期研修
 実践プログラム型
 国際教養学部

「国際協力」コース

17年次生以降

1. コースの目的

今日の国際社会には、開発、人権、環境をはじめとする地球規模課題（Global Agenda）が山積している。こうした諸課題を解決するためには国境を越えた国際協力が不可欠であり、各国の政府機関・援助機関に加えて国際機関や国際NGOなどが果たす役割の重要性は、今後ますます高まっていく。そこで、これらの国際協力関連機関でのキャリアを目指す学生たちに対して、これからの時代の国際協力の専門家に求められる基礎的な知識・技能・経験を身につける機会を提供することが、本コースの目的である。

2. コースコーディネーター

総合人間科学部教育学科教授 小松 太郎

3. コース概要

「国際協力」コース修了に必要な合計科目・単位数は10科目・20単位以上です。

◆ 導入科目（1年次）

	科目内容
2科目：4単位	<p>* 選択必修：2科目 (特に◆の科目を履修すること)</p> <p>国際協力について、その基本的仕組みや課題について学ぶ。</p>

		科目名	単 位	開講元
導入科目	選択必修	◆グローバル化と国際貢献	2	全学共通科目
		◆国際協力概論-日本による開発援助の潮流と仕組み-	2	全学共通科目
		◆教養としてのインテリジェンス-国際情報リテラシーの課題と方法-	2	全学共通科目
		INTRODUCTION TO INTERNATIONAL RELATIONS	4	国際教養学部
		国際政治史入門	2	全学共通科目
		国際政治学	4	法学部
		INTRODUCTION TO INTERNATIONAL COOPERATION THEORY AND PRACTICE	2	全学共通科目
		平和学	2	神学部
		南アジア研究入門	2	全学共通科目
		中東イスラーム研究入門 I	2	全学共通科目
		東南アジア研究入門	2	全学共通科目
		アフリカ研究入門	2	全学共通科目
		ロシア・ユーラシアの国際関係 B	2	外国語学部 (ロシア語学科)

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

◆ 専門科目（2年次以降）

	科目内容
(1) 基礎理論科目 (講義による知識・ 方法論の習得) 2科目：4単位	* 必修科目：1科目 * 選択科目：1科目 国際協力に携わるうえで必要となる基礎的知識（政治、経済、法律、国際関係等）および国際協力の分析方法を身につける。
(2) 実践科目 (ケーススタディ) 3科目：6単位	* 必修科目：1科目 * 選択科目：2科目 国際協力に関するケーススタディを通じ、国際協力活動の具体的な実践課程と課題を複眼的な視点から分析する力を養う。
(3) 実務スキル科目 (基礎的技能の習得と 向上) 3科目：6単位	* 必修科目：1科目 * 選択科目：2科目 国際協力の実践活動に必要な基礎的技能を習得する。
(4) 国際協力業務・ フィールド体験	* インターンシップ、ボランティア、スタディーツアー等 実践活動を通じて、国際協力の業務や途上国フィールド体験することが推奨される。
* 国際キャリアセミナー	* オンデマンドで配信。必ず視聴すること。 将来的に国際協力に従事することを念頭に、国際協力を仕事とすることの意味や課題、ならびにキャリアパスを考える。

グローバル教育
センターについて

科目
インターンシップ
目
グローバルコンピ
テンシープログラム

海外短期
研修

実践
プログラム
型

2022年度
2023年度
2024年度
2025年度
2026年度
2027年度
2028年度
2029年度
2030年度

			科目名	単位	開講元専門科目
専門科目	基礎理論科目	必修	国際協力基礎理論	2	グローバル教育センター
		選択	保健統計学	2	看護学科
			アジア開発経済論	2	経済学科
			国際経済学 1	2	総合グローバル学部
			国際経済学 2	2	総合グローバル学部
			国連の役割と機能（国連集中研修）	2	全学共通科目
			国際法各論	2	法学部
			国際紛争処理法	2	法学部
			地理的境界と人々の暮らし	2	全学共通科目
			SUSTAINABLE DEVELOPMENT	2	全学共通科目
	DEBATE ON PEACEBUILDING		2	全学共通科目	
	実践科目	必修	国際協力事例研究	2	グローバル教育センター
		選択	市民が関わる国際協力	2	外国語学部
			市民社会・国際協力論概説	2	外国語学部
			国際看護学概論	2	看護学科
			国際教育開発論 1	2	総合グローバル学部
			国際教育開発論 2	2	総合グローバル学部
			異文化理解と医療保健活動	2	看護学科
			アジアの環境と開発（2022年度休講）	2	総合グローバル学部
			ブラジル社会開発協力	2	外国語学部 （ポルトガル語学科）
			実務スキル科目	必修	国際協力プロジェクト・マネジメント
	選択	統計学 1		2	総合グローバル学部
		統計学 2		2	総合グローバル学部
		社会統計学-国際的な統計データの解釈-		2	全学共通科目
		実践英語ライティング-PRACTICAL ENGLISH WRITING-（2022年度休講）		2	全学共通科目
		INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH A ※科目ナンバリング「ENG200 番台」の科目のみ		2	全学共通科目
		INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH B ※科目ナンバリング「ENG200 番台」の科目のみ		2	全学共通科目
		ENGLISH FOR NEGOTIATIONS ※科目ナンバリング「ENG200 番台」の科目のみ		1	言語教育研究センター （語学科目）
		ACADEMIC WRITING ※科目ナンバリング「ENG200 番台」の科目のみ		1	言語教育研究センター （語学科目）

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

4. 「国際協力」コース オリジナル科目

履修度	科目 コード	ナンバリング	授業科目名	単 位 数	開 講 期	担当者	外 国 語	備考
自由科目	GCP20030	ICP205-02j00	国際協力基礎理論	2	春学期	* 小野 道子		GCP (国際協力) 履修者のみ受講可
	GCP30010	ICP301-02e00	国際協力事例研究	2	秋学期	小松 太郎	○	GCP (国際協力) 履修者のみ受講可
	GCP30020	ICP302-02j00	国際協力プロジェクト・ マネジメント	2	春学期 集中	* 杉山 竜一 * 笠井 千賀子		GCP (国際協力) 履修者のみ受講可、 夏期集中講義

※オリジナル科目は卒業に必要な単位とはならない

5. コース受講にあたって求められるスキルや前提条件（必要な知識等）

- ・ 国際協力に携わるうえで必要な語学力。英語はもとより、特に国際機関での勤務を志望する者は早い段階からの国連公用語を中心とする他の外国語の習得が望ましい。
- ・ 複眼的思考力や課題解決力に基づいた時事問題に対する分析手法。
- ・ 現在の国際問題を考えるうえで前提となる世界史の基礎知識。

グローバル教育
センターについて

科目
インターンシップ
目
グローバルコンピ
テンシープログラム

海外短期
研修

実践
プログラム
型

グローバル
センター
コンピ
テンシー
プログラム

「グローバル・ビジネス」コース

17年次生以降

1. コースの目的

近年、ビジネスを取り巻く環境はグローバル化の程度を高めており、もはや一国のみに閉じた経済・経営活動は成立が困難になってきている。グローバル化によって、ビジネスの多様性と不確実性は一層高まっている。異なった価値観をもつ顧客やビジネス・パートナーを理解し、変化の早い流動的な状況で重要な決断を迫られる局面が今後ますます増加していく。本コースでは、多様性・不確実性が高いグローバルなビジネス環境において重要な役割を果たし、社会に貢献していくための基盤となる能力を養うために、多様なグローバル・ビジネスの現状に触れ、問題解決のガイドとなる経済・経営の諸理論・コンセプトを学習・習得する機会を提供することを目的としている。

2. コースコーディネーター

経済学部経営学科教授 網倉 久永

3. コース概要

「グローバル・ビジネス」コース修了に必要な合計科目・単位数は10科目・20単位以上です。

◆導入科目（1年次）

	科目内容
2科目：4～6単位	<経済学部生以外> * 必修科目：1科目 * 選択科目：1科目 全学共通科目および全学科目として指定されている国際教養学部開講のIBE科目から選択する。
	<経済学部生> * 必修科目：1科目 * 選択科目：1科目 全学共通科目および経済学科・経営学科のB群指定科目から選択する。

<経済学部生以外>

		科目名	単位	開講元
導入科目	必修	経営学入門	2	全学共通科目
		選択	経営学系	2
		グローバル・ビジネスの現状と課題（2022年度以降開講）	2	全学共通科目
		企業と社会	2	全学共通科目
		経営社会と人間の行動	2	全学共通科目
		マーケティング入門	2	全学共通科目
		簿記会計論	2	全学共通科目
		会計情報論	2	全学共通科目
		経済学系	2	全学共通科目
		INTRODUCTION TO WORLD ECONOMIC HISTORY	2	全学共通科目
		教養としての経済知識	2	全学共通科目
		経済と環境	2	全学共通科目
		経済学	2	全学共通科目
		IBE科目	4	国際教養学部
	PRINCIPLES OF MICROECONOMICS	4	国際教養学部	
	PRINCIPLES OF MACROECONOMICS	4	国際教養学部	

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

<経済学部生>

		科目名	単位	開講元		
導入科目	必修	経営学概論Ⅱ	2	経営学科		
		経営学総論	2	経済学科		
	選択	経営学系	グローバル・ビジネスの現状と課題（2022年度休講）	2	全学共通科目	
			経営戦略論Ⅰ	2	経営学科	
			経営戦略論Ⅱ	2	経営学科	
			経営組織論Ⅰ	2	経営学科	
			経営組織論Ⅱ	2	経営学科	
			マーケティング戦略論Ⅰ	2	経営学科	
			マーケティング戦略論Ⅱ	2	経営学科	
			簿記会計学入門Ⅰ	2	経営学科	
			簿記会計学入門Ⅱ	2	経営学科	
			原価計算論Ⅰ	2	経営学科	
			原価計算論Ⅱ	2	経営学科	
			経済学系	ミクロ経済学B	2	経済学科
				ミクロ経済学C	2	経済学科
				経済発展論	2	経済学科
				CONTEMPORARY ISSUES IN INTERNATIONAL DEVELOPMENT	2	経済学科
	GLOBAL DEVELOPMENT GOALS	2		経済学科		
	企業経済論Ⅰ	2		経営学科		
	企業経済論Ⅱ	2		経営学科		
	消費者行動論	2		経営学科		
	財務会計Ⅰ	2		経営学科		
	財務会計Ⅱ	2		経営学科		
	管理会計論Ⅰ	2		経営学科		
	管理会計論Ⅱ	2		経営学科		

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

◆専門科目（2年次以降）

科目・単位数	科目内容<経済学部生以外・経済学部生で指定科目が異なる>
(1)応用科目（講義） 4科目：8単位	* 必修科目：1科目 * 選択科目：3科目 経済学・経営学のうちグローバル・ビジネスに関連する学科科目
(2)実践科目（演習） 4科目：8単位	* 選択必修科目：2科目 * 選択科目：2科目 ビジネス実務に関する実践的能力・スキルを養う科目
(3)グローバル・ビジネス実践	* インターンシップ等を通じて、グローバル・ビジネスの現場を体験することが推奨される。

グローバル教育
センターについて

科目
インターンシップ
目
グローバルコンピテ
ンシープログラム

海外短期研修

実践
ロ
グ
践
ラ
ム
型

CONTEMPORARY ISSUES IN INTERNATIONAL DEVELOPMENT
GLOBAL DEVELOPMENT GOALS

<経済学部生以外>

			科目名	単位	開講元
専門科目	応用(講義)	必修	グローバルビジネス基礎セミナー (2022年度以降閉講)	2	グローバル教育センター
		選択	国際経済史	2	経済学科
			GLOBAL ECONOMIC HISTORY	2	経済学科
			GLOBAL DEVELOPMENT GOALS	2	経済学科
			国際経営論Ⅰ	2	経営学科
			国際経営論Ⅱ	2	経営学科
			国際経営論Ⅲ	2	経営学科
			人的資源管理論Ⅰ	2	経営学科
			人的資源管理論Ⅱ	2	経営学科
			国際会計	2	経営学科
			国際貿易論Ⅰ	2	経済学科
			国際貿易論Ⅱ	2	経済学科
			アジア開発経済論	2	経済学科
			アジア経済成長論	2	経済学科
			特別講義(開発援助論)	2	経済学科
			INTERNATIONAL TRADE	4	国際教養学部
			INTERNATIONAL FINANCE	4	国際教養学部
			INTERNATIONAL BUSINESS	4	国際教養学部
			グローバル化と経済学Ⅰ	2	総合グローバル学部
			GLOBALIZATION AND ECONOMICS 2	2	総合グローバル学部
	国際経済学Ⅰ		2	総合グローバル学部	
	国際経済学Ⅱ	2	総合グローバル学部		
	開発経済学	4	総合グローバル学部		
	グローバル化と発展途上国	4	総合グローバル学部		
	アジアとグローバル企業	2	総合グローバル学部		
	実践(演習)	選択必修	グローバルビジネス応用セミナーⅠ:事例分析	2	グローバル教育センター
			グローバルビジネス応用セミナーⅡ:データ分析	2	グローバル教育センター
			グローバルビジネス応用セミナーⅢ:英語で学ぶ経営学	2	グローバル教育センター
		選択	経営英語(BUSINESS COMMUNICATION STRATEGY)	2	経営学科
			経営英語Ⅰ	2	経営学科
			経営英語Ⅱ	2	経営学科
			経営英語(INTERNATIONAL BUSINESS)	2	経営学科
			グローバル・ビジネスのフロンティア	2	全学共通科目
HOSPITALITY BUSINESS IN ASIA			2	全学共通科目	
GENERAL MANAGEMENT IN ACTION			2	全学共通科目	
CHALLENGING FRONTLINE ISSUES IN GLOBAL BUSINESS			4	経営学科	
経済英語Ⅰ(INTERMEDIATE)			2	経済学科	
経済英語Ⅱ(INTERMEDIATE)			2	経済学科	
経済英語Ⅰ(SPECIALIZED)	2	経済学科			
経済英語Ⅱ(SPECIALIZED)	2	経済学科			

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

<経済学部生>

		科目名	単位	開講元	
専門科目	応用(講義)	必修	グローバルビジネス基礎セミナー (2022年度以降閉講)	2	グローバル教育センター
		選択	GLOBAL ECONOMIC HISTORY	2	経済学科
			国際経済史	2	経済学科
			国際経営論Ⅰ	2	経営学科
			国際経営論Ⅱ	2	経営学科
			国際経営論Ⅲ	2	経営学科
			人的資源管理論Ⅰ	2	経営学科
			人的資源管理論Ⅱ	2	経営学科
			国際会計	2	経営学科
			国際貿易論Ⅰ	2	経済学科
			国際貿易論Ⅱ	2	経済学科
			アジア開発経済論	2	経済学科
			アジア経済成長論	2	経済学科
			特別講義(開発援助論)	2	経済学科
			INTERNATIONAL TRADE	4	国際教養学部
			INTERNATIONAL FINANCE	4	国際教養学部
			INTERNATIONAL BUSINESS	4	国際教養学部
			グローバル化と経済学Ⅰ	2	総合グローバル学部
			GLOBALIZATION AND ECONOMICS 2	2	総合グローバル学部
			国際経済学Ⅰ	2	総合グローバル学部
	国際経済学Ⅱ		2	総合グローバル学部	
	開発経済学	4	総合グローバル学部		
	グローバル化と発展途上国	4	総合グローバル学部		
	アジアとグローバル企業	2	総合グローバル学部		
	実践(演習)	選択必修	グローバルビジネス応用セミナーⅠ:事例分析	2	グローバル教育センター
			グローバルビジネス応用セミナーⅡ:データ分析	2	グローバル教育センター
			グローバルビジネス応用セミナーⅢ:英語で学ぶ経営学	2	グローバル教育センター
		選択	経営英語(BUSINESS COMMUNICATION STRATEGY)	2	経営学科
			経営英語Ⅰ	2	経営学科
			経営英語Ⅱ	2	経営学科
			経営英語(INTERNATIONAL BUSINESS)	2	経営学科
			グローバル・ビジネスのフロンティア	2	全学共通科目
			HOSPITALITY BUSINESS IN ASIA	2	全学共通科目
GENERAL MANAGEMENT IN ACTION			2	全学共通科目	
CHALLENGING FRONTLINE ISSUES IN GLOBAL BUSINESS			4	経営学科	
経済英語Ⅰ(INTERMEDIATE)			2	経済学科	
経済英語Ⅱ(INTERMEDIATE)			2	経済学科	
経済英語Ⅰ(SPECIALIZED)	2	経済学科			
経済英語Ⅱ(SPECIALIZED)	2	経済学科			

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

グローバル教育センターについて
 科目 インターナシッ
 プ
 グローバルコンピ
 テンス・プログラム
 海外短期研修
 プ
 実
 ロ
 グ
 踐
 ラ
 ム
 型
 0225 0226 0227 0228 0229 0230 0231 0232 0233 0234 0235 0236 0237 0238 0239 0240 0241 0242 0243 0244 0245 0246 0247 0248 0249 0250 0251 0252 0253 0254 0255 0256 0257 0258 0259 0260 0261 0262 0263 0264 0265 0266 0267 0268 0269 0270 0271 0272 0273 0274 0275 0276 0277 0278 0279 0280 0281 0282 0283 0284 0285 0286 0287 0288 0289 0290 0291 0292 0293 0294 0295 0296 0297 0298 0299 0300 0301 0302 0303 0304 0305 0306 0307 0308 0309 0310 0311 0312 0313 0314 0315 0316 0317 0318 0319 0320 0321 0322 0323 0324 0325 0326 0327 0328 0329 0330 0331 0332 0333 0334 0335 0336 0337 0338 0339 0340 0341 0342 0343 0344 0345 0346 0347 0348 0349 0350 0351 0352 0353 0354 0355 0356 0357 0358 0359 0360 0361 0362 0363 0364 0365 0366 0367 0368 0369 0370 0371 0372 0373 0374 0375 0376 0377 0378 0379 0380 0381 0382 0383 0384 0385 0386 0387 0388 0389 0390 0391 0392 0393 0394 0395 0396 0397 0398 0399 0400 0401 0402 0403 0404 0405 0406 0407 0408 0409 0410 0411 0412 0413 0414 0415 0416 0417 0418 0419 0420 0421 0422 0423 0424 0425 0426 0427 0428 0429 0430 0431 0432 0433 0434 0435 0436 0437 0438 0439 0440 0441 0442 0443 0444 0445 0446 0447 0448 0449 0450 0451 0452 0453 0454 0455 0456 0457 0458 0459 0460 0461 0462 0463 0464 0465 0466 0467 0468 0469 0470 0471 0472 0473 0474 0475 0476 0477 0478 0479 0480 0481 0482 0483 0484 0485 0486 0487 0488 0489 0490 0491 0492 0493 0494 0495 0496 0497 0498 0499 0500 0501 0502 0503 0504 0505 0506 0507 0508 0509 0510 0511 0512 0513 0514 0515 0516 0517 0518 0519 0520 0521 0522 0523 0524 0525 0526 0527 0528 0529 0530 0531 0532 0533 0534 0535 0536 0537 0538 0539 0540 0541 0542 0543 0544 0545 0546 0547 0548 0549 0550 0551 0552 0553 0554 0555 0556 0557 0558 0559 0560 0561 0562 0563 0564 0565 0566 0567 0568 0569 0570 0571 0572 0573 0574 0575 0576 0577 0578 0579 0580 0581 0582 0583 0584 0585 0586 0587 0588 0589 0590 0591 0592 0593 0594 0595 0596 0597 0598 0599 0600 0601 0602 0603 0604 0605 0606 0607 0608 0609 0610 0611 0612 0613 0614 0615 0616 0617 0618 0619 0620 0621 0622 0623 0624 0625 0626 0627 0628 0629 0630 0631 0632 0633 0634 0635 0636 0637 0638 0639 0640 0641 0642 0643 0644 0645 0646 0647 0648 0649 0650 0651 0652 0653 0654 0655 0656 0657 0658 0659 0660 0661 0662 0663 0664 0665 0666 0667 0668 0669 0670 0671 0672 0673 0674 0675 0676 0677 0678 0679 0680 0681 0682 0683 0684 0685 0686 0687 0688 0689 0690 0691 0692 0693 0694 0695 0696 0697 0698 0699 0700 0701 0702 0703 0704 0705 0706 0707 0708 0709 0710 0711 0712 0713 0714 0715 0716 0717 0718 0719 0720 0721 0722 0723 0724 0725 0726 0727 0728 0729 0730 0731 0732 0733 0734 0735 0736 0737 0738 0739 0740 0741 0742 0743 0744 0745 0746 0747 0748 0749 0750 0751 0752 0753 0754 0755 0756 0757 0758 0759 0760 0761 0762 0763 0764 0765 0766 0767 0768 0769 0770 0771 0772 0773 0774 0775 0776 0777 0778 0779 0780 0781 0782 0783 0784 0785 0786 0787 0788 0789 0790 0791 0792 0793 0794 0795 0796 0797 0798 0799 0800 0801 0802 0803 0804 0805 0806 0807 0808 0809 0810 0811 0812 0813 0814 0815 0816 0817 0818 0819 0820 0821 0822 0823 0824 0825 0826 0827 0828 0829 0830 0831 0832 0833 0834 0835 0836 0837 0838 0839 0840 0841 0842 0843 0844 0845 0846 0847 0848 0849 0850 0851 0852 0853 0854 0855 0856 0857 0858 0859 0860 0861 0862 0863 0864 0865 0866 0867 0868 0869 0870 0871 0872 0873 0874 0875 0876 0877 0878 0879 0880 0881 0882 0883 0884 0885 0886 0887 0888 0889 0890 0891 0892 0893 0894 0895 0896 0897 0898 0899 0900 0901 0902 0903 0904 0905 0906 0907 0908 0909 0910 0911 0912 0913 0914 0915 0916 0917 0918 0919 0920 0921 0922 0923 0924 0925 0926 0927 0928 0929 0930 0931 0932 0933 0934 0935 0936 0937 0938 0939 0940 0941 0942 0943 0944 0945 0946 0947 0948 0949 0950 0951 0952 0953 0954 0955 0956 0957 0958 0959 0960 0961 0962 0963 0964 0965 0966 0967 0968 0969 0970 0971 0972 0973 0974 0975 0976 0977 0978 0979 0980 0981 0982 0983 0984 0985 0986 0987 0988 0989 0990 0991 0992 0993 0994 0995 0996 0997 0998 0999 1000

4. 「グローバル・ビジネス」コース オリジナル科目

履修度	科目 コード	ナンバリング	授業科目名	単 位 数	開 講 期	担 当 者	外 国 語	備 考
自由 科目	GCP20020	MAN203-02j00	グローバルビジネス基礎セミナー	2	閉講	-		GCP（グローバル・ビジネス）履修者のみ受講可
	GCP30030	MAN303-02j00	グローバルビジネス応用セミナーⅠ：事例分析	2	春学期	* 田口 力		GCP（グローバル・ビジネス）履修者のみ受講可
	GCP30040	MAN304-02j00	グローバルビジネス応用セミナーⅡ：データ分析	2	秋学期	* 西原 文乃		GCP（グローバル・ビジネス）履修者のみ受講可
	GCP30050	MAN305-02e00	グローバルビジネス応用セミナーⅢ：英語で学ぶ経営学	2	秋学期	* GASPARI Paul	○	GCP（グローバル・ビジネス）履修者のみ受講可

※オリジナル科目は卒業に必要な単位とはならない

5. コース受講にあたって求められるスキルや前提条件（必要な知識等）

- ・不確実で複雑な環境下で高い成果を達成しようとする気概。
- ・未知の状況を解明しようとする、知的好奇心。
- ・多様な人々の、異なった価値観や考え方を受け入れ、チームとして仕事を進めていける柔軟性。
- ・言語や文化を異にする人々とも共感し、理解し合えるコミュニケーション能力。

「グローバル・メディア」コース

17年次生以降

1. コースの目的

人類が直面する地球規模の諸課題を直視し、解決に導いていくためには、国際社会の理解・支持と協調が肝要となる。健全なジャーナリズムの存在が民主主義の発展に不可欠であることは言うまでもないが、他方において、現代社会における国際政治経済のアクターは、戦略的な情報発信力、国際世論への喚起力なくしては、そのプレゼンスを示し得ない。特に情報通信ネットワークの発達などによる世界規模での情報化の進展により、報道現場やメディア・ビジネスの現場で国際的に活躍できるジャーナリスト、コーディネーター、国際機関やNGOなどの広報担当者など、メディア・コミュニケーションの理論と実践を理解し、的確に発信できる人材が強く求められている。本コースでは、グローバル・メディア・コミュニケーションの基礎的な知識、技能を身につけ、国際理解の促進に寄与することの意義を考える機会を提供することを目的としている。

2. コースコーディネーター

文学部新聞学科教授 音 好宏

3. コース概要

「グローバル・メディア」コース修了に必要な合計科目・単位数は10科目・20単位以上です。

◆導入科目（1年次）

科目・単位数	内容<新聞学科生とそれ以外で一部指定科目が異なる>
2科目：4単位	<p>* 選択必修科目：2科目 (新聞学科生とそれ以外で一部指定科目が異なる)。</p> <p>* 推奨科目 必修ではないが、履修を推奨する。</p>

		科目名	単位	開講元	
導入科目	選択必修	全学部共通	マルチメディア情報社会論	2	全学共通科目
			グローバル化と国際貢献	2	全学共通科目
			教養としてのインテリジェンス—国際情報リテラシーの課題と方法—	2	全学共通科目
	以外新聞学科生	新聞学科生	マス・コミュニケーション論Ⅰ	2	全学共通科目
			マス・コミュニケーション論Ⅱ	2	全学共通科目
	推奨	新聞学科生	コミュニケーション論Ⅰ	2	新聞学科
			憲法	2	全学共通科目
			INTRODUCTION TO INTERNATIONAL COOPERATION THEORY AND PRACTICE	2	全学共通科目
			グローバル・コンサーンと平和の促進（2022年度休講）	2	全学共通科目
			情報化社会と情報倫理	2	全学共通科目

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

グローバル教育センターについて
 科目 インターナシッ
 目 グローバルコンピ
 ショープログラム
 海外短期研修
 プ実
 ロ 践
 グラ
 ム型
 012214 0000-02-2
 012214 0000-02-2
 012214 0000-02-2
 012214 0000-02-2

◆専門科目（2年次以降）

科目・単位数	内容
(1)応用科目 (講義による知識・方法論の習得) 5科目：10単位	* 必修科目：1科目 * 選択必修科目：3科目以上 グローバル・メディア、グローバル・コミュニケーション、グローバル・ジャーナリズムに関する専門的知識、理論、および、その現状と課題について学ぶ。
(2)実務科目/ グローバル・メディア実践 (基礎的スキルの修得と向上) 3科目：6単位	* 必修科目：1科目 * 選択科目：2科目 (オリジナル科目「グローバル・メディア実践プログラム」は必修ではないが、履修を推奨する。) グローバル・メディア、グローバル・コミュニケーションの現場での実践的知識、技能を習得する。 * 社会实践活动（インターンシップ等）を通じてグローバル・メディア、グローバル・コミュニケーションの実務を経験する、もしくは、専門科目で得た知識、技能を生かしコンテンツ制作を行うことが推奨される。

			科目名	単位	開講元
専門科目	応用科目	必修	グローバル・メディア実践入門	2	グローバル教育センター
		選択必修	国際コミュニケーション論Ⅰ	2	新聞学科
	国際コミュニケーション論Ⅱ		2	新聞学科	
	マス・メディア論Ⅰ		2	新聞学科	
	人間行動とマス・メディアⅠ		2	新聞学科	
	外国ジャーナリズムⅠa		2	新聞学科	
	外国ジャーナリズムⅠb		2	新聞学科	
	外国ジャーナリズムⅡa		2	新聞学科	
	外国ジャーナリズムⅡb		2	新聞学科	
	外国ジャーナリズムⅢa		2	新聞学科	
	外国ジャーナリズムⅢb		2	新聞学科	
	選択		ライフスタイルの社会学	2	社会学科
			ライフコースの社会学	2	社会学科
		計画と政策の社会学	2	社会学科	
		格差と不平等の社会学	2	社会学科	
		メディアと情報の社会学	2	全学共通科目	
		国際政治史Ⅰ	2	総合グローバル学部	
		国際政治史Ⅱ	2	総合グローバル学部	
		グローバリゼーションと市民社会Ⅰ	2	総合グローバル学部	
		グローバリゼーションと市民社会Ⅱ	2	総合グローバル学部	
		国際政治経済論（経済学的アプローチ）Ⅰ	2	総合グローバル学部	
		国際政治経済論（経済学的アプローチ）Ⅱ	2	総合グローバル学部	
		国際教育開発論Ⅰ	2	総合グローバル学部	
	国際教育開発論Ⅱ	2	総合グローバル学部		

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

			科目名	単位	開講元
専門科目	実務科目／グローバル・メディア実践	必修	実践メディア英語	2	グローバル教育センター
		選択	グローバル・メディア実践プログラム	2	グローバル教育センター
			時事問題研究 I	2	新聞学科
			時事問題研究 II	2	新聞学科
			時事問題研究特殊 I a (国内)	2	新聞学科
			時事問題研究特殊 I b (国内)	2	新聞学科
			時事問題研究特殊 II a (国際)	2	新聞学科
			時事問題研究特殊 II b (国際)	2	新聞学科
			ジャーナリズムの現在 I	2	新聞学科
			ジャーナリズムの現在 II	2	新聞学科
			メディア実践 I	2	新聞学科
			メディア実践 II	2	新聞学科
			視聴覚教育	2	課程センター

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

4. 「グローバル・メディア」コース オリジナル科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位数	開講期	担当者	外国語	備考
自由科目	GCP30060	JRN302-02m00	グローバル・メディア実践入門	2	春学期	* 黄 盛彬		GCP (グローバル・メディア) 履修者のみ受講可
	GCP30070	JRN303-02e00	実践メディア英語	2	春学期	* D SOUZA ARUN	○	GCP (グローバル・メディア) 履修者のみ受講可
	GCP30080	JRN304-02m00	グローバル・メディア実践プログラム (※)	2	秋学期	音 好宏		GCP (グローバル・メディア) 履修者のみ受講可、輪講

※オリジナル科目は卒業に必要な単位とはならない

(※) の科目はテレビセンターで実施するため、別途実習費が必要となる。

5. コース受講にあたって求められるスキルや前提条件 (必要な知識等)

- ・ 人類が直面する地球規模の課題や国際社会で発生する時事問題への強い関心。
- ・ 複眼的な思考力や課題発見・解決力、情報発信力、表現力を高めようとする意欲があること。
- ・ グローバルなメディア・コミュニケーション、ジャーナリズムに携わる上で必要な語学力。
- ・ グローバル化、情報化が進む現代社会の諸問題を考える上で前提となる近現代史の基礎知識。
- ・ アーカイブス、ウェブ等から積極的に情報探索を行える情報リテラシー。

グローバル教育センターについて
 科目 インターナシッピ
 目 グローバルコンピテ
 シー：プログラム
 海外短期研修
 プ実
 ロ
 グ
 踐
 ラ
 ム
 型
 0123456789101112131415161718192021222324252627282930313233343536373839404142434445464748495051525354555657585960616263646566676869707172737475767778798081828384858687888990919293949596979899100

「コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング」コース

18年次生以降

1. コースの目的

現代世界には、貧困、教育、環境、正義に関わる諸問題が渦巻いている。本コースの目的は、これらの問題に私達がどのように関わっているか、また私達のアクションが世界にどのような影響を与えるかを理解することである（“Think globally”）。そして、様々なボランティア、サービス・ラーニング、フィールドワークなどを通して、NGO/NPO、市民活動に学び、さらなる実践へと結びつける方途を見出してゆくことである（“Act locally”）。草の根運動を検証することで、社会的正義や市民社会といった理念が人々の生活にどう関係しているかを学び、世界の問題を解決へと導く方法を模索する。なお、このコースは日・英両言語を用いて科目を履修するバイリンガル・コースである。

2. コースコーディネーター

国際教養学部教授 SLATER David

3. コース概要

「コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング」コース修了に必要な科目・単位数は10科目（うち英語によるもの最低2科目）・20単位以上です。

◆導入科目（1年次）

科目・単位数	内容	備考
2科目：4単位～	<p>* 選択必修：2科目</p> <p>科目は「Global Politics」, 「Society & Culture」, 「Environment & Development」の3クラスターに分けられている。3つのクラスターのうち、異なる2つのクラスターから履修すること。</p>	1科目は英語による科目を履修することを推奨する。

		科目名	単位	開講元
Global Politics		THEORIES AND THEMES OF CONTEMPORARY POLITICS	4	国際教養学部
		INTRODUCTION TO COMPARATIVE POLITICS	4	国際教養学部
		CONTROVERSIES IN GLOBALIZATION	4	国際教養学部
Society & Culture		ジェンダーの社会学	2	社会学科
		グローバル・コンサーンと平和の促進（2022年度休講）	2	全学共通科目
		生命倫理の世界	2	全学共通科目
		INTRODUCTION TO CULTURAL AND SOCIAL ANTHROPOLOGY	4	国際教養学部
		ANTHROPOLOGY OF JAPAN	4	国際教養学部
		NATURE AND CULTURE	4	国際教養学部
		FUNDAMENTALS OF RELIGION	4	国際教養学部
		INTRODUCTION TO SOCIOLOGY	4	国際教養学部
		INTRODUCTION TO JAPANESE SOCIETY	4	国際教養学部
Environment & Development		地球環境と科学技術 I	2	全学共通科目
		地球環境と科学技術 II	2	全学共通科目
		グローバル化と国際貢献	2	全学共通科目
		国際協力概論	2	全学共通科目
		—日本による開発援助の潮流と仕組み—	2	全学共通科目
		地球環境学 I	2	全学共通科目
		地球環境学 II	2	全学共通科目
		環境問題と科学技術	2	全学共通科目

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

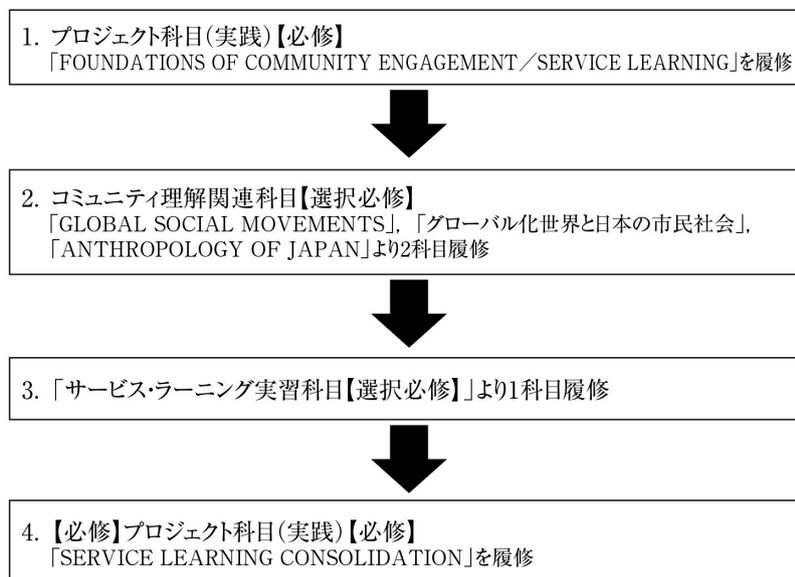
	科目名	単位	開講元
導入科目 Environment & Development	環境法入門	2	法学部
	INTRODUCTION TO INTERNATIONAL COOPERATION THEORY AND PRACTICE	2	全学共通科目
	CONSERVATION	2	全学共通科目
	ENVIRONMENTAL ISSUES 1	4	国際教養学部

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

◆専門科目（2年次以降）

科目・単位数	内容	備考
(1)コミュニティ理解関連科目 5科目：10単位～	<p>* 選択必修科目：2科目 * 選択科目：3科目</p> <p>グローバル化した世界の多様な問題に対して、人びとがどのような方法を用いて市民活動を実践し、世界に貢献してきたかを学ぶ</p>	6科目中、英語による科目を最低2科目必修とする。
(2)サービス・ラーニング実習科目 1科目：2単位～	<p>* 選択必修科目：1科目</p> <p>当該科目の履修を通じて、社会貢献活動を実践する。</p>	
(3)プロジェクト科目（実践） 2科目：4単位	<p>* 必修科目：2科目</p> <p>「FOUNDATIONS OF COMMUNITY ENGAGEMENT/SERVICE LEARNING」で作成した計画書に基づき、(2)「サービス・ラーニング実習科目」を通じて社会貢献活動を実践し、「SERVICE LEARNING CONSOLIDATION」において振り返り、活動についてまとめる。</p>	

【専門科目履修順序】下記の順に履修すること。（「コミュニティ理解関連科目」の「選択科目」については、履修時期・順序を問わない。）



グローバル教育
センターについて

科目
インターンシップ
目
グローバルコンピテ
ンシープログラム

海外短期
研修

実践
型
プログラム

2022年度
2023年度
2024年度
2025年度
2026年度
2027年度
2028年度
2029年度
2030年度

			科目名	単位	開講元
専門科目	コミュニケーション理解関連科目	選択必修	GLOBAL SOCIAL MOVEMENTS (2021年度以降閉講)	2	グローバル教育センター
			グローバル化世界と日本の市民社会 (2021年度以降閉講)	2	グローバル教育センター
		選択	社会哲学Ⅰ (2022年度休講)	2	哲学科
			社会哲学Ⅱ (2022年度休講)	2	哲学科
			政治哲学Ⅰ	2	哲学科
			政治哲学Ⅱ	2	哲学科
			教育学特殊講義Ⅱ—教育の思想—	2	教育学科
			異文化理解と医療保健活動	2	看護学科
			環境法総論	2	法学部
			環境法各論	2	法学部
			環境社会学	2	法学部
			LEGAL WRITING	2	法学部
			LAW AND SOCIETY	2	法学部
			環境経済学	2	経済学科
			ENVIRONMENTAL AND NATURAL RESOURCE ECONOMICS	2	経済学科
			環境マネジメント論	2	経営学科

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

		科目名	単位	開講元
専門科目	コミュニケーション理解関連科目	選択		
		HISTORY OF JAPANESE IMMIGRATION 1 (2022 年度休講)	2	外国語学部 (英語学科)
		HISTORY OF JAPANESE IMMIGRATION 2	2	外国語学部 (英語学科)
		PSYCHOLOGY OF DISCRIMINATION (2022 年度休講)	2	外国語学部 (英語学科)
		INTERCULTURAL INTERACTION 1	2	外国語学部 (英語学科)
		INTERCULTURAL INTERACTION 2 (2022 年度休講)	2	外国語学部 (英語学科)
		ヨーロッパ政治経済論 (2022 年度休講)	2	外国語学部 (ドイツ語学科)
		ヨーロッパ政治経済入門	2	外国語学部 (ドイツ語学科)
		ロシア・ユーラシア経済概論	2	外国語学部 (ロシア語学科)
		ロシア・ユーラシア経済特論 (2022 年度休講)	2	外国語学部 (ロシア語学科)
		ラ米現代史概論	2	外国語学部 (スペイン語学科)
		ラ米政治社会特論 A (2022 年度休講)	2	外国語学部 (スペイン語学科)
		ラ米政治社会特論 B	2	外国語学部 (スペイン語学科)
		NGO と社会運動の人類学	2	総合グローバル学部
		アジアの環境と開発 (2022 年度休講)	2	総合グローバル学部
		アフリカ社会経済論	2	総合グローバル学部
		民衆イスラーム論	2	総合グローバル学部
		イスラームとジェンダー	2	総合グローバル学部
		ADVANCED STUDIES (INTERNATIONAL ORGANIZATION B)	2	総合グローバル学部
		グローバル化と文化 1	2	総合グローバル学部
		グローバル化と文化 2	2	総合グローバル学部
		WOMEN AND MEN IN THE LABOR MARKET	4	国際教養学部
		RELIGION, CONFLICT AND VIOLENCE	4	国際教養学部
		NONPROFIT NGOS IN COMPARATIVE CONTEXTS	4	国際教養学部
		JAPANESE GOVERNMENT AND POLITICS	4	国際教養学部
		POLITICAL ECOLOGY	2	国際教養学部
		ENVIRONMENTAL POLITICS OF AGRICULTURE	4	国際教養学部
		SEMINAR IN POLITICAL SCIENCE	4	国際教養学部
		AGRARIAN SOCIETIES	4	国際教養学部
		NATIONALISM, CITIZENSHIP AND DEMOCRACY IN JAPAN	4	国際教養学部
		COMPARATIVE POLITICS OF ADVANCED INDUSTRIAL DEMOCRACIES	4	国際教養学部
		NATURE AND SOCIETY	4	国際教養学部
		ADVANCED READINGS IN ANTHROPOLOGY	4	国際教養学部
		POLITICAL LEADERSHIP	4	国際教養学部
POLITICAL ECONOMY OF DEVELOPMENT	4	国際教養学部		
SOCIETY AND POLITICS	4	国際教養学部		

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

グローバル教育センターについて
 科目 インターナシッ
 目 グローバルコンピ
 ショー・プログラム
 海外短期研修
 プ実
 ロ 践
 グ ラ
 ム 型
 0123456789101112
 131415161718192021222324252627282930313233343536373839404142434445464748495051525354555657585960616263646566676869707172737475767778798081828384858687888990919293949596979899100

			科目名	単位	開講元
専門科目	関連科目 コミュニティ理解	選択	INDIGENOUS RELIGION	4	国際教養学部
			国際サービスラーニング論（閉講）	2	全学共通科目
			ボランティア論	2	神学部
	サービス・ラーニング実習科目	選択必修	AJCU-AP サービスラーニング・プログラム	4	全学共通科目
			インド・サービスラーニング・プログラム	2	全学共通科目
			北部タイ・サービスラーニング・プログラム（2022年度以降閉講）	2	全学共通科目
			HUMAN ECOLOGY: RIVERS 1	2	国際教養学部
			HUMAN ECOLOGY: RIVERS 2	2	国際教養学部
			ANTHROPOLOGY PRACTICUM 2	4	国際教養学部
			DIGITAL ORAL NARRATIVES 1	4	国際教養学部
	プロジェクト科目 (実践)	必修	FOUNDATIONS OF COMMUNITY ENGAGEMENT/SERVICE LEARNING（2021年度以降閉講）	2	グローバル教育センター
			SERVICE LEARNING CONSOLIDATION（2021年度以降閉講）	2	グローバル教育センター

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

4. 「コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング」コース オリジナル科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位数	開講期	担当者	外国語	備考
自由科目	GCP30130	CMF303-02m00	FOUNDATIONS OF COMMUNITY ENGAGEMENT/SERVICE LEARNING	2	-	2021年度以降閉講	-	GCP（コミュニティ・エンゲージメント）履修者のみ受講可
	GCP30130	CMF303-02m00	FOUNDATIONS OF COMMUNITY ENGAGEMENT/SERVICE LEARNING	2	-	2021年度以降閉講	-	GCP（コミュニティ・エンゲージメント）履修者のみ受講可
	GCP30140	CMF304-02m00	GLOBAL SOCIAL MOVEMENTS	2	-	2021年度以降閉講	-	GCP（コミュニティ・エンゲージメント）履修者のみ受講可
	GCP30110	CMF302-02m00	グローバル化世界と日本の市民社会	2	-	2021年度以降閉講	-	GCP（コミュニティ・エンゲージメント）履修者のみ受講可
	GCP30160	CMF306-02m00	SERVICE LEARNING CONSOLIDATION	2	-	2021年度以降閉講	-	GCP（コミュニティ・エンゲージメント）履修者のみ受講可
	GCP30161	CMF306-02m00	SERVICE LEARNING CONSOLIDATION	2	-	2021年度以降閉講	-	GCP（コミュニティ・エンゲージメント）履修者のみ受講可

※オリジナル科目は卒業に必要な単位とはならない

5. コース受講にあたって求められるスキルや前提条件（必要な知識等）

- ・「弱者」に対する強い関心があり、自ら進んで社会に貢献しようとする気持ちがあること。
- ・人びとの多様性を認める姿勢があること。
- ・大きな地球の問題に立ち向かおうとする意識があること。
- ・英語を自分の武器にする、という気持ちがあること。

「コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング」コース

17年次生

1. コースの目的

現代世界には、貧困、教育、環境、正義に関わる諸問題が渦巻いている。本コースの目的は、これらの問題に私達がどのように関わっているか、また私達のアクションが世界にどのような影響を与えるかを理解することである（“Think globally”）。そして、様々なボランティア、サービス・ラーニング、フィールドワークなどを通して、NGO/NPO、市民活動に学び、さらなる実践へと結びつける方途を見出してゆくことである（“Act locally”）。草の根運動を検証することで、社会的正義や市民社会といった理念が人々の生活にどう関係しているかを学び、世界の問題を解決へと導く方法を模索する。なお、このコースは日・英両言語を用いて科目を履修するバイリンガル・コースである。

2. コースコーディネーター

国際教養学部教授 SLATER David

3. コース概要

「コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング」コース修了に必要な科目・単位数は10科目（うち英語によるもの最低2科目）・20単位以上です。

◆導入科目（1年次）

科目・単位数	内容	備考
2科目：4単位～	<p>* 選択必修：2科目</p> <p>科目は「Global Politics」、「Society & Culture」、「Environment & Development」の3クラスターに分かれている。3つのクラスターのうち、異なる2つのクラスターから履修すること。</p>	1科目は英語による科目を履修することを推奨する。

	科目名	単位	開講元
Global Politics	THEORIES AND THEMES OF CONTEMPORARY POLITICS	4	国際教養学部
	INTRODUCTION TO COMPARATIVE POLITICS	4	国際教養学部
	CONTROVERSIES IN GLOBALIZATION	4	国際教養学部
Society & Culture	ジェンダーの社会学	2	社会学科
	グローバル・コンサーンと平和の促進（2022年度休講）	2	全学共通科目
	生命倫理の世界	2	全学共通科目
	INTRODUCTION TO CULTURAL AND SOCIAL ANTHROPOLOGY	4	国際教養学部
	ANTHROPOLOGY OF JAPAN	4	国際教養学部
	NATURE AND CULTURE	4	国際教養学部
	FUNDAMENTALS OF RELIGION	4	国際教養学部
	INTRODUCTION TO SOCIOLOGY	4	国際教養学部
	INTRODUCTION TO JAPANESE SOCIETY	4	国際教養学部
Environment & Development	地球環境と科学技術 I	2	全学共通科目
	地球環境と科学技術 II	2	全学共通科目
	グローバル化と国際貢献	2	全学共通科目
	国際協力概論	2	全学共通科目
	—日本による開発援助の潮流と仕組み—		
	地球環境学 I	2	全学共通科目
	地球環境学 II	2	全学共通科目
	環境問題と科学技術	2	全学共通科目

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

グローバル教育センターについて
 科目：インターンシップ
 目次
 グローバルコンピテンシー：プログラム
 海外短期研修
 プログラム型
 0123456789101112131415161718192021222324252627282930313233343536373839404142434445464748495051525354555657585960616263646566676869707172737475767778798081828384858687888990919293949596979899100

		科目名	単位	開講元
導入科目	Environment & Development	環境法入門	2	法学部
		INTRODUCTION TO INTERNATIONAL COOPERATION THEORY AND PRACTICE	2	全学共通科目
		CONSERVATION	2	全学共通科目
		ENVIRONMENTAL ISSUES 1	4	国際教養学部

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

◆専門科目（2年次以降）

科目・単位数	内容	備考
(1)リテラシー科目 (知識習得) / サービス・ラーニング関連科目 6科目：12単位～	* 選択必修科目：2科目 * 選択科目：4科目 グローバル化した世界の多様な問題に対して、人びとがどのような方法を用いて市民活動を実践し、世界に貢献してきたかを学ぶ	6科目中、英語による科目を最低2科目必修とする。
(2)プロジェクト科目（実践） 2科目：4単位	* 必修科目：2科目 「プロジェクト・プランニング」で作成した計画書に基づき、「PRAXIS IN CIVIL SOCIETY」を通じて社会貢献プロジェクトを実践する	

		科目名	単位	開講元
専門科目	選択必修	GLOBAL SOCIAL MOVEMENTS（2021年度以降閉講）	2	グローバル教育センター
		グローバル化世界と日本の市民社会（2021年度以降閉講）	2	グローバル教育センター
	選択	社会哲学Ⅰ（2022年度休講）	2	哲学科
		社会哲学Ⅱ（2022年度休講）	2	哲学科
		政治哲学Ⅰ	2	哲学科
		政治哲学Ⅱ	2	哲学科
		教育学特殊講義Ⅱ—教育の思想—	2	教育学科
		異文化理解と医療保健活動	2	看護学科
		環境法総論	2	法学部
		環境法各論	2	法学部
		環境社会学	2	法学部
		LEGAL WRITING	2	法学部
		LAW AND SOCIETY	2	法学部
		環境経済学	2	経済学科
		ENVIRONMENTAL AND NATURAL RESOURCE ECONOMICS	2	経済学科
		環境マネジメント論	2	経営学科

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

		科目名	単位	開講元
専門科目	選択	HISTORY OF JAPANESE IMMIGRATION 1 (2022 年度休講)	2	外国語学部 (英語学科)
		HISTORY OF JAPANESE IMMIGRATION 2	2	外国語学部 (英語学科)
		PSYCHOLOGY OF DISCRIMINATION (2022 年度休講)	2	外国語学部 (英語学科)
		INTERCULTURAL INTERACTION 1	2	外国語学部 (英語学科)
		INTERCULTURAL INTERACTION 2 (2022 年度休講)	2	外国語学部 (英語学科)
		ヨーロッパ政治経済論 (2022 年度休講)	2	外国語学部 (ドイツ語学科)
		ヨーロッパ政治経済入門	2	外国語学部 (ドイツ語学科)
		ロシア・ユーラシア経済概論	2	外国語学部 (ロシア語学科)
		ロシア・ユーラシア経済特論 (2022 年度休講)	2	外国語学部 (ロシア語学科)
		ラ米現代史概論	2	外国語学部 (スペイン語学科)
		ラ米政治社会特論 A (2022 年度休講)	2	外国語学部 (スペイン語学科)
		ラ米政治社会特論 B	2	外国語学部 (スペイン語学科)
		NGO と社会運動の人類学	2	総合グローバル学部
		アジアの環境と開発 (2022 年度休講)	2	総合グローバル学部
		アフリカ社会経済論	2	総合グローバル学部
		民衆イスラーム論	2	総合グローバル学部
		イスラームとジェンダー	2	総合グローバル学部
		ADVANCED STUDIES (INTERNATIONAL ORGANIZATION B)	2	総合グローバル学部
		グローバル化と文化 1	2	総合グローバル学部
		グローバル化と文化 2	2	総合グローバル学部
		WOMEN AND MEN IN THE LABOR MARKET	4	国際教養学部
		RELIGION, CONFLICT AND VIOLENCE	4	国際教養学部
		NONPROFIT NGOS IN COMPARATIVE CONTEXTS	4	国際教養学部
		JAPANESE GOVERNMENT AND POLITICS	4	国際教養学部
		POLITICAL ECOLOGY	2	国際教養学部
		ENVIRONMENTAL POLITICS OF AGRICULTURE	2	国際教養学部
		SEMINAR IN POLITICAL SCIENCE	4	国際教養学部
		AGRARIAN SOCIETIES	4	国際教養学部
		NATIONALISM, CITIZENSHIP AND DEMOCRACY IN JAPAN	4	国際教養学部
		COMPARATIVE POLITICS OF ADVANCED INDUSTRIAL DEMOCRACIES	4	国際教養学部
		NATURE AND SOCIETY	4	国際教養学部
		ADVANCED READINGS IN ANTHROPOLOGY	4	国際教養学部
		POLITICAL LEADERSHIP	4	国際教養学部
		POLITICAL ECONOMY OF DEVELOPMENT	4	国際教養学部
		SOCIETY AND POLITICS	4	国際教養学部
		ANTHROPOLOGY PRACTICUM 2	4	国際教養学部

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

グローバル教育
センターについて

科目 インターナシ
目 ップ

グローバルコンピ
ンシー・プログラム

海外短期研
修

実践
ロ
グ
踐
ラ
ム
型

GLOBAL STUDY
CENTER

			科目名	単位	開講元
専門科目	リテラシー習得(知識習得) / サービス・ラーニング関連科目	選択	INDIGENOUS RELIGION	4	国際教養学部
			DIGITAL ORAL NARRATIVES 1	4	国際教養学部
			HUMAN ECOLOGY: RIVERS 1	2	国際教養学部
			HUMAN ECOLOGY: RIVERS 2	2	国際教養学部
			国際サービスラーニング論 (閉講)	2	全学共通科目
			ボランティア論	2	神学部
			AJCU-AP サービスラーニング・プログラム	4	全学共通科目
			インド・サービスラーニング・プログラム	2	全学共通科目
			北部タイ・サービスラーニング・プログラム (2022年度以降閉講)	2	全学共通科目
			プロジェクト習得(実践)	必修	FUNDATIONS OF COMMUNITY ENGAGEMENT/ SERVICE LEARNING (2021年度以降閉講)
			SERVICE LEARNING CONSOLIDATION (2021年度以降閉講)	2	グローバル教育センター

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

4. 「コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング」コース オリジナル科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	外国語	備考
自由科目	GCP30090	CMF303-02m00	FOUNDATIONS OF COMMUNITY ENGAGEMENT /SERVICE LEARNING	2		2021年度以降閉講		GCP (コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング) 履修者のみ受講可
	GCP30090	CMF303-02m00	FOUNDATIONS OF COMMUNITY ENGAGEMENT /SERVICE LEARNING	2		2021年度以降閉講		GCP (コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング) 履修者のみ受講可
	GCP30100	CMF304-02m00	GLOBAL SOCIAL MOVEMENTS	2		2021年度以降閉講		GCP (コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング) 履修者のみ受講可
	GCP30110	CMF302-02m00	グローバル化世界と日本の市民社会	2		2021年度以降閉講		GCP (コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング) 履修者のみ受講可
	GCP30120	CMF306-02m00	SERVICE LEARNING CONSOLIDATION	2		2021年度以降閉講		春学期集中, GCP (コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング) 履修者のみ受講可
	GCP30120	CMF306-02m00	SERVICE LEARNING CONSOLIDATION	2		2021年度以降閉講		秋学期集中, GCP (コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング) 履修者のみ受講可

※ オリジナル科目は卒業に必要な単位とはならない。

※ 下記科目は同一科目のため、どちらか一方しか本コース修了に必要な単位として認められない (すべて閉講)。

科目コード	変更後の科目名	変更年度	科目コード	変更年度以前の科目名
GCP30090	FOUNDATIONS OF COMMUNITY ENGAGEMENT /SERVICE LEARNING	2019	GCP30090	プロジェクト・プランニング
GCP30100	GLOBAL SOCIAL MOVEMENTS	2019	GCP30100	CIVIL SOCIETY, NPO AND CITIZEN POWER
GCP30120	SERVICE LEARNING CONSOLIDATION	2019	GCP30120	PRAXIS IN CIVIL SOCIETY

海外短期研修

※下記内容は変更、中止される可能性があります。また下記以外にも、追加で新たに実施が決定されることもあります。
最新の情報についてはグローバル教育センター（2号館1階）に確認してください。

①本学の修得単位として認定するもの

大学名	講義での使用言語	実施国名	授業期間	付与単位数	対象学科	成績・単位の取り扱い
カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (UCLA)	英語	アメリカ	夏期休業中	参加者の履修科目による	全学部生可	*全学共通科目（選択科目）または学科科目として認定可。語学科目としての認定不可。 *事前に所属学科長と面談・相談のうえ参加し、学生が帰国後単位換算願を提出する必要がある。 *2022年度秋学期分単位として認定し、修了した者の成績は“N”（認定）となる。
アンジェ高等商業科学大学 (ESSCA)	英語	ハンガリー	春期休業中	参加者の履修科目による	全学部生可	*全学共通科目（選択科目）または学科科目として認定可。語学科目としての認定不可。 *事前に所属学科長と面談・相談のうえ参加し、学生が帰国後単位換算願を提出する必要がある。 *2022年度春学期分単位として認定し、修了した者の成績は“N”（認定）となる。 *本学の交換協定に基づき実施されるため、授業料は免除となる（航空運賃、宿泊費等は自己負担）。

※両プログラムとも2019年度以前に入学した国際教養学部生が単位認定された場合は認定単位数分の授業料が発生する。

②本学の開講科目として取り扱うもの

大学名	講義での使用言語	実施国名	授業期間	付与単位数	対象学科	成績・単位の取り扱い	開講学部・学科
カリフォルニア大学デービス校	英語	アメリカ	夏期休業中	2	理工学部のみ	*理工共通科目Ⅰ群の自由科目として算入可。ただし卒業に必要な単位には充当できない。 *2022年度春学期分単位として付与され、修了した者の成績は“P”となる。	理工学部共通
オックスフォード大学	英語	イギリス	夏期休業中	2	全学部生可	*全学共通科目（選択科目）または学科科目として算入可。語学科目としての算入不可。 *2022年度春学期に単位が付与され、合格した者の成績は、“P”となる。	英語学科
ロンドン大学SOAS	英語	イギリス	夏期休業中	4	全学部生可	*全学共通科目（選択科目）または学科科目として算入可。語学科目としての算入不可。 *2022年度春学期に単位が付与され、合格した者の成績は、“P”となる。	英語学科
ビクトリア大学	英語	カナダ	夏期休業中	4	全学部生可	*経営学科生は学科科目として算入可。 *経営学科生以外は全学共通科目（選択科目）もしくは学科科目として算入可。 *2022年度春学期に単位が付与され、合格した者の成績は、“P”となる。	経営学科
トリア大学	ドイツ語	ドイツ	夏期休業中	2	ドイツ語学科のみ	*外国語学部ドイツ語学科選択科目「ドイツ語Ⅲ」として算入可。 *2022年度春学期に単位が付与され、合格した者の成績は、“P”となる。 *問合せ先：ドイツ語学科事務室	ドイツ語学科
教皇立ハベリアナ大学	イスパニア語	コロンビア	夏期休業中	2	全学部生可（ただし、定員を超えた場合はイスパニア語学科生優先）	*イスパニア語学科生は学科科目として算入可。ただし、専攻外国語としてのイスパニア語科目として算入する場合は学科の指導に従うこと。 *イスパニア語学科生以外は全学共通科目（選択科目）または学科科目として導入可。 *2022年度春学期に単位が付与され、合格した者の成績は、“P”となる。	イスパニア語学科
ノースカロライナ大学シャーロット校	英語	アメリカ	春期休業中	2	理工学部のみ	*理工共通科目Ⅰ群の自由科目として算入可。ただし卒業に必要な単位には充当できない。 *2022年度秋学期分単位として付与され、修了した者の成績は“P”となる。	理工学部共通
パリ政治学院	英語	フランス	春期休業中	4	全学部生可	*全学共通科目（選択科目）または学科科目として算入可。語学科目としての算入不可。 *2022年度秋学期に単位が付与され、合格した者の成績は、“P”となる。	フランス語学科
西オーストラリア大学	英語	オーストラリア	春期休業中	4	全学部生可（ただし、定員を超えた場合は法学部生優先）	*法学部生は学科科目として算入可。 *法学部生以外は全学共通科目（選択科目）または学科科目として算入可。 *語学科目としては算入不可。 *2022年度秋学期に単位が付与され、合格した者の成績は、“P”となる。	法学部
デウスト大学	イスパニア語	スペイン	春期休業中	2	全学部生可（ただし、定員を超えた場合はイスパニア語学科生優先）	*イスパニア語学科生は学科科目として算入可。ただし、専攻外国語としてのイスパニア語科目として算入する場合は学科の指導に従うこと。 *イスパニア語学科生以外は全学共通科目（選択科目）または学科科目として導入可。 *2022年度秋学期に単位が付与され、合格した者の成績は、“P”となる。	イスパニア語学科

※詳細は各開講元のページを参照すること。

グローバル教育センターについて
 インターナショナルプログラム
 グローバルコンピテンシープログラム
 海外短期研修
 プログラム型
 実践型

実践型プログラム

※下記内容は変更，中止される可能性があります。最新の情報についてはグローバル教育センター（2号館1階）に確認してください。

プログラム名	授業期間	付与単位数	成績・単位の取り扱い	プログラム概要
AJCU-AP サービスマーケティング・プログラム	夏期 休業中	4	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2022年度春学期分単位として認定し，合格した者の成績は“P”（合格）となる。	イエズス会の教育の精神「他者のために，他者とともに」に基づいた人間的な成長を目指し，環境保全・地域開発をテーマに，アジア諸国の学生と共に社会貢献について考え，現地に実践するプログラム。（2022年度はタイにて実施予定）
グローバルリーダーシップ・プログラム	夏期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2022年度春学期分単位として認定し，合格した者の成績は“P”（合格）となる。	アジアのイエズス会大学から学生が集い，テーマに沿って学内での事前・事後指導，現地での討論等を通じてキリスト教の人間教育を理解し，グローバル社会で活躍するリーダーの育成を目指すプログラム。（2022年度は輔仁大学にて実施予定）
東南アジアに学ぶ (実践型プログラム) A	夏期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2022年度秋学期分単位として認定。 * 合格した者の成績は“P”（合格）となる。	歴史や文化の多様性に富み，ダイナミックに変貌している東南アジアのメコン地域を対象に実施する。メコン地域内の経済活動を促進してきた3つの経済回廊のうち，タイの東部からカンボジアとベトナムを繋ぐ「東部・南部経済回廊」を巡り，工業団地やインフラ視察，文化遺産訪問，国境地帯の観察，学生交流等を通じて体験的に学ぶプログラム。さらに，メコン地域の経済社会発展を支援する国際機関の職員から講義を受け，プロジェクト・サイトにおけるフィールド研修を行う。
東南アジアに学ぶ (実践型プログラム) B	春期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2022年度秋学期分単位として認定し，合格した者の成績は“P”（合格）となる。	メコン地域内の経済活動を促進してきた3つの経済回廊のうち，ラオスの古都ルアンプラバンからビエンチャンを経由し，タイ北部に滞在し，バンコクへ至る「南北経済回廊」を往く。北部タイでは，イエズス会が設置した高等教育機関「ザビエル学習コミュニティ」と地域支援機関「暁の家」に滞在し，ラオスや北部タイの経済社会課題に関する講義，少数民族の村での対話やホームステイ，コーヒー農園での収穫作業体験，少数民族出身の学生との交流，等を柱とするプログラムである。
インドの社会経済・人間開発に学ぶ:南インドのケララを実例として	夏期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2022年度春学期分単位として認定し，合格した者の成績は“P”（合格）となる。	南インドのケララ州の経済開発，労働問題，人間開発などの特徴や課題について，現地の状況に直接触れながら学ぶプログラム。
国際公務員をめざして (実務型国連集中研修)	夏期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2022年度春学期分単位として認定し，合格した者の成績は“P”（合格）となる。	ニューヨーク国連本部にて，国際公務員制度や採用プロセスの説明に加え，履歴書の書き方やコンビテンシー面接などの実践的演習を行う。国連本部で研修することにより，実際の現場を身近に感じ，より現実的，効果的に学ぶことを目的とする。
アフリカに学ぶA/B	夏期・ 春期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * [夏期休業中実施] 2022年度春学期分単位として認定。 * [春期休業中実施] 2022年度秋学期分単位として認定。 * 合格した者は“P”（合格）となる。	アフリカ諸国に渡航し，歴史と現状について理論的・実践的に学ぶプログラム。現地の教育機関で講義を受けるほか，日本大使館・JICA事務所・国際機関への訪問・プロジェクト見学や，地域の市民活動・民間企業・芸術文化施設等での実習を予定。
エストニア・スタディツアー	春期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2022年度秋学期分単位として認定し，合格した者の成績は“P”（合格）となる。	時期によってはバルト海周辺国も含めるが，基本的にエストニアの教育機関などの活動を見学し，現地の学生や関係者とディスカッションを通して，教育プログラムを開発する。特にエストニアにおける環境保全やICT活用などの革新的取り組みと工夫を学び，持続可能な社会構築への示唆を得ることを目的とする。
ジュネーブ国際機関 集中研修プログラム	夏期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2022年度春学期分単位として認定し，合格した者の成績は“P”（合格）となる。	国際機関本部が集中しているスイス・ジュネーブに滞在し，関係機関の職員から直接受ける講義や質疑応答を通して各国際機関の役割や活動を学ぶとともに，世界が直面する様々な課題について理解を深める。
インド・サービスマーケティング・プログラム	春期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2022年度秋学期分単位として認定し，合格した者の成績は“P”（合格）となる。	インドのデリー・アグラ・バラナシ・コルカタに滞在し，インドの歴史や文化，宗教を学ぶとともに，マザーテレサが設立した「神の愛の宣教者会」諸施設で，ボランティア活動を行う国際サービスマーケティング・プログラム。

プログラム名	授業期間	付与単位数	成績・単位の取り扱い	プログラム概要
国連の役割と機能 (国連集中研修プログラム)	春期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2022年度秋学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	国連の役割と機能に関する理解を深めるために、実際に国連の活動に従事している職員達からニューヨーク国連本部で講義を受ける。その講義を通じて、国連の理論と実践について考察する。
ミャンマー・スタディーツアー	春期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2022年度秋学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	近年、急速な民主化と経済改革が進むミャンマーを訪れ、主に教育開発を中心に、各国政府（日本・韓国）、国際機関・上智の設立母体であるイエズス会等がそれぞれミャンマー国内で展開する活動について学ぶ。但し、2022年度については、社会情勢に鑑み開講しない可能性があります。
多文化共生社会のリーダーシップ	春期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2022年度秋学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	米国ゴンザガ大学のSchool of Leadership Studiesによって企画・開講される。米国におけるダイバーシティやジェンダーの様々な課題、そして多様性を踏まえた包摂的リーダーシップについて学ぶ。上智大学の他、お茶の水女子大学、静岡県立大学の学生が参加し、日米、あるいは日本内における視点の違い等を多面的に考察しながら、理解を深める。

※2019年度以前に入学した国際教養学部の学生が参加する際には、付与単位数分の授業料がかかる。

グローバル教育
センターについて

科目
インターンシップ
目録

グローバル
シニアプログラム

海外短期
研修

実践
プログラム
型

2022年度
国際教養
学部
学生
会
の
取
組
み

<Sophia AIMS (SAIMS) プログラム科目>

「ヒューマン・エコロジー：社会と自然の多様性と連結性」を中心テーマとし、ASEANの学生と協働して既存の人文・社会および自然科学の枠組みを超えて「人間開発」に取り組むことを目指す学融合型プログラムです。自らASEAN諸国へ留学すること、ASEANから本学で受け入れている学生との交流を通じて、国際的な視野を持った人材育成を目指しています。SAIMSプログラム参加者には、以下の科目の履修を強く推奨します。

※下記の科目はプログラムに参加しない学生でも受講は可能で、授業言語はすべて英語で行う。(語学スコア等の提出は求めないがTOEFL79 (iBT) 相当の英語力が必要。ただし、「HUMAN ECOLOGY: RIVERS 1」「HUMAN ECOLOGY: RIVERS 2」はスコアの提出が必要。)

※担当教員等の詳細は各開講元のページを、単位の取り扱いについては所属学科のページを参照すること。「HUMAN ECOLOGY: RIVERS 1」「HUMAN ECOLOGY: RIVERS 2」の詳細については、国際教養学部の「BULLETIN OF INFORMATION」を参照すること。また、SAIMSプログラム自体の問い合わせに関してはグローバル教育センター(2号館1F)に問い合わせること。

科目名	開講学期	開講元
CONSERVATION	2Q・4Q	全学共通科目
ENVIRONMENTAL SCIENCE	1Q・3Q	全学共通科目
HUMAN ECOLOGY: RIVERS 1	春(夏期実習あり)	国際教養学部
HUMAN ECOLOGY: RIVERS 2	春(夏期実習あり)	国際教養学部
SUSTAINABLE DEVELOPMENT	1Q・3Q	全学共通科目

<Latin America Program (LAP) 科目>

LAPは2015～2019年度に文部科学省「大学の世界展開力強化事業(中南米)」採択プログラムとして運営してきました。2019年度で補助事業は終了しましたが、LAPの枠組みで実施した主要な科目は持続可能な範囲で継続して開講しています。LAPで開講する以下の科目は、中南米をはじめとする海外からの留学生と共に学ぶことや国内外での多文化体験を通じて、多角的な視野で問題解決に向けて協働できる力を養うというLAPの目標にあった学修成果を目指します。

※担当者等の詳細は()内の各開講元のページを、単位の取り扱いについては所属学科のページを参照すること。またLAP自体の問い合わせに関してはグローバル教育センター(2号館1F)に問い合わせること。

科目名	開講学期
教皇立ハベリアナ大学 短期研修(外国語学部)	春(夏期休業中)
JAPANESE POP CULTURE(全学共通科目)	秋

(注)以下の3演習は、LAP参加学生に強く履修が推奨される。また、履修年次は3・4年次となっているが、LAP卒で3年次春に留学を開始する者は、2年次に受講することが可能である。

科目名	開講学期(開講元)
「日本・ラテンアメリカ比較文学」	春(イスパニア語学科)
「演習(在日ブラジル人教育・社会事情研究)1」(2022年度は休講)	春(ポルトガル語学科)
「演習(在日ブラジル人教育・社会事情研究)2」(2022年度は休講)	秋(ポルトガル語学科)

<東アジアの諸問題とイエズス会教育(上智・西江共同開講科目)>

本科目(全学共通科目)は、西江大学の学生との交流を含む科目です。オンラインでの合同授業を実施するほか、週末(2泊3日)を利用して学期期間中に双方の国を行き来します(渡航費は自己負担)。隣国理解を軸とし、「東アジアにおける移民・難民」の課題研究を目的とする科目となります。

履修にあたっては、説明会および事前選抜を行います。但し、2022年度については、社会情勢に鑑み両大学間の訪問を行いません。説明会・募集情報等詳細については、Loyolaの「グローバル教育センター」掲示板で発表します。

SUMMER SESSION IN EAST ASIAN STUDIES AND JAPANESE LANGUAGE

1961年に始まり50年以上の歴史を持つ上智大学のSummer Session in East Asian Studies and Japanese Languageは、海外の大学生等を対象とした3週間の短期プログラムです。日本及びアジアの社会、政治、経済、芸術、言語に関わる講義や日本語を学ぶコースを英語で開講することにより、受講者に日本及びアジアの視点から今日の世界を考察してもらうことを目的としています。これまでに世界中の国々から累積で10,000人以上が参加している歴史あるプログラムです。

本学の学生も履修が可能です。通常の学期中に毎日授業が行われるプログラムのため、他の科目の履修と重複しないよう十分注意が必要です。

1. 開講期間と科目

2022年度は下記期間で開講します。

2022年7月5日から7月22日まで

East Asian Studies

科目コード	科目名	単位
ARZ331	JAPANESE ART (A): PREHISTORIC TO 12TH CENTURY (FOCUS ON BUDDHIST ART)	2
IBZ447	JAPANESE BUSINESS AND MANAGEMENT	2
SOZ330	JAPANESE POPULAR CULTURE	2
HSZ200	MODERN HISTORY OF JAPAN	2
LIZ334	JAPANESE LITERATURE AND THE CITY	2
IBZ436	DEVELOPMENT ISSUES: ASIA AND THE WORLD	2
MAZ410	MANAGEMENT IN EAST ASIA	2
LIZ450	JAPANESE THEATER	2
SOZ480	CONTEMPORARY JAPANESE SOCIETY	2
SOZ490	CONTEMPORARY KOREAN SOCIETY	2
SOZ440	CONTEMPORARY CHINESE SOCIETY	2
ENZ200	GLOBAL SUSTAINABILITY OUTLOOK AND PRACTICE IN JAPAN	2

2. 履修時の注意点

- 履修登録期間は6月中旬～下旬です。通常の履修登録期間と異なります。
詳細は4月中旬にLoyolaの「大学掲示板」に掲載される「履修申込要項」を確認してください。
- 各科目には受入定員があります。希望者が多い場合には抽選となります。
- 講義は全て英語で行われるため、下記いずれかの外国語要件を満たす必要があります。
TOEFL/PBT: 550, TOEFL/iBT: 79, IELTS: 6.0

グローバル教育センターについて

科目 インターナショナルシップ

グローバルユニビテ
ンシー・プログラム

海外短期研修

実践型

2022年7月5日～7月22日